

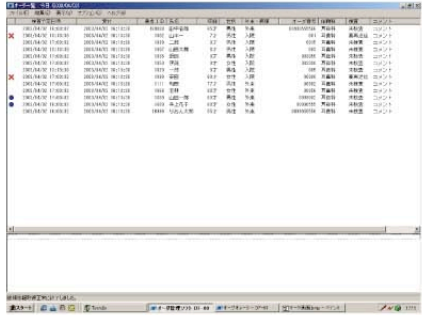
DF-60

電子カルテ オーダリングソフト

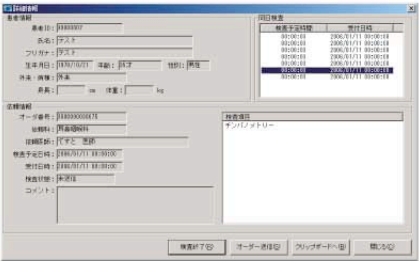
＜概要＞

上位システム（生理機能検査部門システム）とのオーダー連携、検査結果に関する履歴の管理（データベース化：DF-6×シリーズ）により、検査時の作業効率の向上、被検者の待ち時間・負担の軽減、基幹施設としての機能強化を図ることが可能となります。

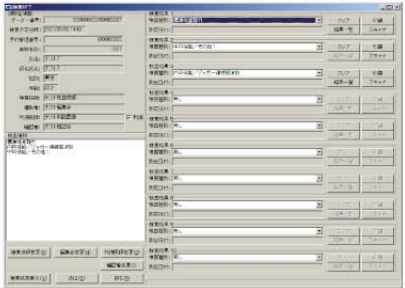
オーダー受信画面



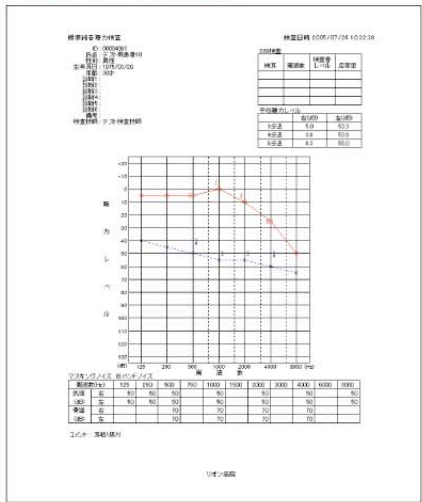
オーダー詳細内容確認画面



結果送信画面



検査レポートの出力例



＜機能＞

- **オーダー受信：**
病院施設の基幹システムから発行されるオーダーを受信する機能
- **患者情報自動登録：**
基幹システムから発行されるオーダーから患者情報を抽出して、患者情報をデータベースに登録する機能
- **結果画像送信：**
当社データベースソフトのデータを上位システムへ送信する機能
(スキャナー画像も可能)
- **スキャナー取り込み：**
検査結果をスキャナーから取り込む機能
取り込んだデータを参照画像として上位システムへ送信することが可能
- **オーダー受信、検査結果送信フォーマット（メーカー名の敬称略）：**
日本光電→DIS Ver.2.00通信仕様書による
フクダ電子（フクダメディカルソリューション）→DF-60F通信仕様書による
ISP→聴力計接続仕様書による

DF-81

電子カルテツール コピーソフト

動作環境：

以下のOSが搭載されたパソコンで動作します。

OS	日本語	英語
Microsoft Windows 98SE	○	－
Microsoft Windows NT Workstation	○	－
Microsoft Windows 2000 Professional	○	○
Microsoft Windows XP Professional	○	○

＜機能＞

- **画像取込機能：**
画像を取り込み、加工して決められたフォルダに保存する機能
・対応する画像ファイル形式（読込／書込）：
BMP、JPEG、PNG
- **クリップボード取込機能：**
クリップボードの画像を取り込み、加工して決められたフォルダに保存する機能
・対応する画像ファイル形式（書込）：
BMP、JPEG、PNG
- **画像ファイル転送機能：**
画像ファイルを決められたフォルダに転送する機能

電子カルテ対応データベースシステム DF-60シリーズ

■仕 様

パソコンについて

- パソコンは、リオンにて各種セットアップ済みをご用意しております。
(設置場所などにより構成内容が変わる場合がありますので、お打ち合わせが必要となります。)
- 対応OSは、Windows®2000 Pro(SP2以上)、XP Proです。
(＊DF-81はこの他にも対応可能なOSがあります。)
- 検査機器（オーディオメータなど）やカードリーダーとの接続は、RS-232-Cとなります。
- データサーバーとなるサーバーパソコンと防音室内に設置可能なクライアントパソコンによる運用を推奨いたします。防音室内にパソコンを設置しない場合、サーバーパソコンのみでの運用も可能です。

サーバーパソコンについて

- 騒音レベルが大きいため、設置は防音室の外となります。
- 弊社標準品はデータの保存性を重視して、データハードディスクにRAIDシステムを採用しています。また、DVD-RAMによるバックアップシステムを搭載しております。
【RAID1（ミラーリング）：同じデータを2台のハードディスクに常に記録するシステムです。(1台のハードディスクが壊れても、もう一台のハードディスクにも、同じデータが保存されているため、ハードディスクの故障などの障害に対して、信頼性が高くなります。)】

クライアントパソコンについて

- 弊社標準品は静音型ですので、防音室内に設置が可能です。

システムについて

- オーダーリングソフト(DF-60)は、上位システムや設置状況等により価格が変わります。
- LAN回線は、100BASE-TX規格となります。
- カードリーダー、バーコードリーダーを接続すれば、患者カードに記載されたID情報の入力が容易になり、入力業務の省力化に貢献できます。(内容により対応できないものもあります。)
- ネットワークの障害が発生した場合でも、検査結果の保存ができるようなシステムとなっています。
(検査結果をリオンのシステムに保存し、障害復帰後、上位のHISシステムに検査結果を再送信することができます。)
- 検査結果の画像出力は、JPEG形式やPNG形式となっています。
(画像サイズは、1データが20kバイト程度です。)
- オンラインではない検査結果は、参照画像としてスキャナー取り込みも可能です。リオン製品以外の検査結果も取り込めます。
(A4サイズまでとなります。)

<注意> 導入にあたっては、システム管理部門および電子カルテメーカーなどとお打ち合わせが必要です。
導入内容によってはソフトウェアの変更等が必要となります。
詳細については当社営業部へご相談ください。



RION MEDICAL
EQUIPMENT

電子カルテ対応
データベースシステム
DF-60シリーズ

本ソフトウェアは、当社検査機器の検査結果を
電子カルテシステムへ送信するソフトウェアです。

- OSはWindows®XP(SP2)に対応、検査機器（オーディオメータなど）やカードリーダーとはRS-232-Cで接続
- データの保存性を重視して、ハードディスクにRAIDシステムを採用
- 検査結果は、JPG形式やPNG形式にて画像出力

上位システムとの
完全オーダー連携システム

上位システムと
同一ネットワーク端末上での
切り替え動作システム

上位システムとは接続しない
スタンドアロンシステム

<http://www.rion.co.jp/>

Scientific pursuit of
human ideals

※ Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。 ※ 本仕様は改良のため断りなく変更することがあります。



本社・営業部
〒185-8533
東京都国分寺市東元町3-20-41
TEL:042-359-7880 FAX:042-359-7441
仙 台 営 業 所
〒982-0015
仙台市太白区南大野田25-13
TEL:022-249-5533 FAX:022-249-5535
西日本営業所
〒530-0047
大阪市北区西天満6-8-7(電子会館ビル)
TEL:06-6363-4133 FAX:06-6364-3673

関東リオン(株)
〒330-0062
さいたま市浦和区仲町3-11-2
TEL:048-824-1205 FAX:048-824-8885
東海リオン(株)
〒460-0004
名古屋市中区新栄町2-9(スカイオアシスビル)
TEL:052-954-1733 FAX:052-954-1734
九州リオン(株)
〒812-0025
福岡市博多区店屋町5-22(朝日生命福岡2ビル)
TEL:092-281-5361 FAX:092-291-2847

<http://www.rion.co.jp/>

●お問い合わせ・ご相談は

聴力検査データを 院内情報システムへ

① オーダー連携を行う場合

- ◆ リオンシステムは生理機能検査部門システムを経由して電子カルテシステムとオーダー連携をします。オーダー連携により、患者情報 (ID、氏名、年齢など) と検査依頼情報を取得し、検査結果画像を送信することが可能となります。

注) 生理機能検査部門システムのメーカー様により、接続形態が異なりますので、別途、お打ち合わせが必要となります。

② 電子カルテ端末等にリオンシステムをインストールし、データベースを直接参照する場合

- ◆ 同一ネットワークにリオンシステムを同居することにより、特別な連携をとらず、データベースを直接参照できます。過去のデータと重ね書きをしたり、他のデータを検索したりすることが可能です。

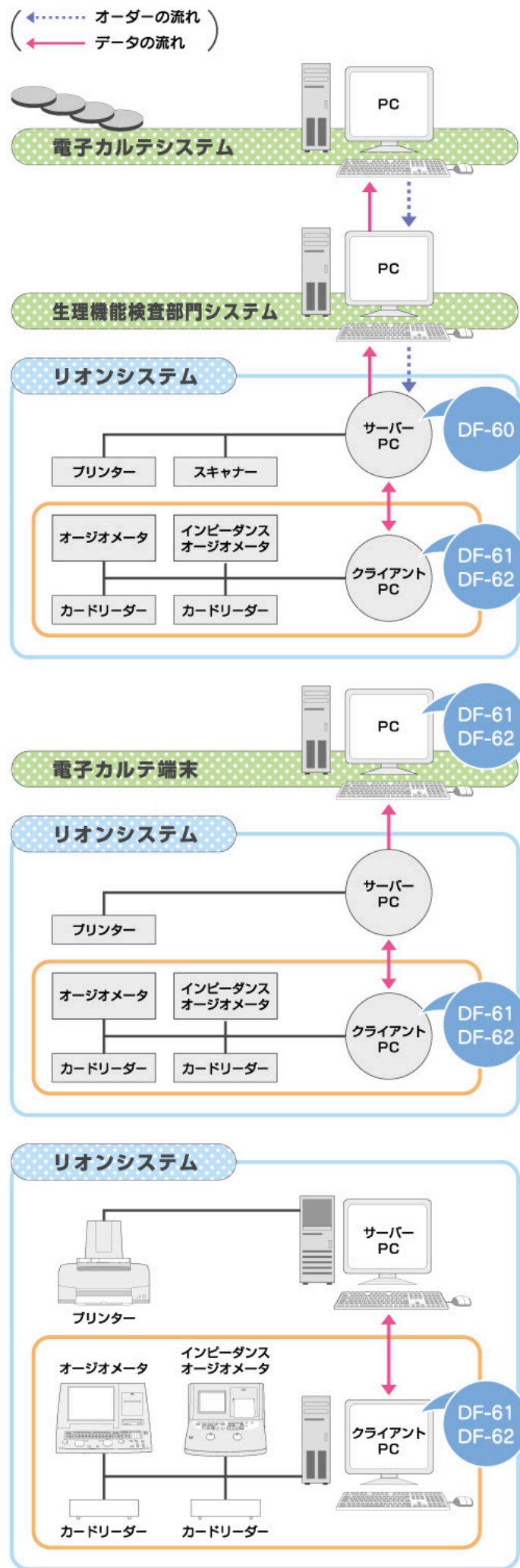
注) 本方法は電子カルテネットワークに同居するため、上位システムの許可が必要となります。また、電子カルテネットワークの端末にリオンシステムをインストールした場合、検査結果は、コピー＆ペーストでデータを電子カルテへ貼り付けることができます。

③ 電子カルテネットワークとは接続しない場合

- ◆ 将来の電子カルテ化に向けて、データを蓄積する場合に有効です。将来、病院が電子カルテ化された場合でも、検査データが電子化して蓄積されているので過去のデータ検索などが容易にできます。

注) このシステムは純粋に検査データのみを管理するシステムで、電子カルテとリンクさせるためには別途ソフトウェア (別売) が必要となります。

※上記の図は構成例ですので、導入にあたっては当社営業部へご相談ください。



本ソフトは、リオン製のオーディオメータ等電子カルテ対応検査機器と接続されたコンピューター上で、検査データを保存管理するソフトウェアです。検査機器から、検査データの取り込み、保存、参照、印刷が可能です。また、カードリーダーやバーコードリーダーを接続し、診察券などから患者情報を読み込むことも可能です。

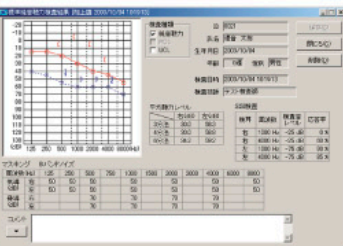
DF-61

データベースソフト オーディオメータ

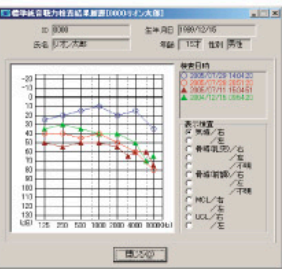
〈機能〉

- 標準純音聴力検査：気骨導域値不快聴取レベル (UCL)
- SISI：検耳、周波数、レベル、スコア、4周波数まで
- 音場での聴力検査
- 語音了解域値、語音弁別能
- TTS (左右別表記)
- ABLB
- 連続周波数自記 (左右別表記)
- 耳鳴

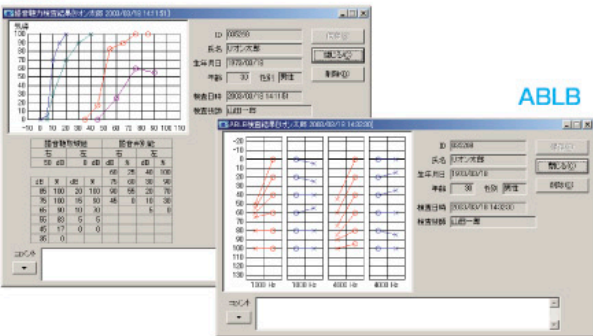
オーディオグラム



オーディオグラム重ね書き

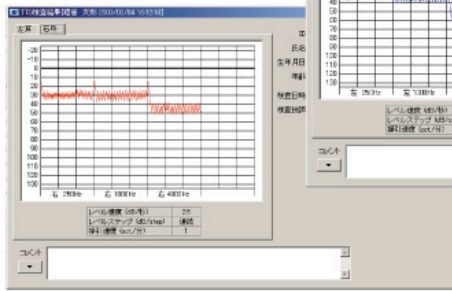


語音

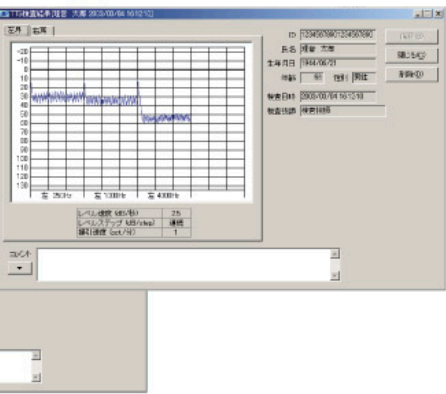


ABLB

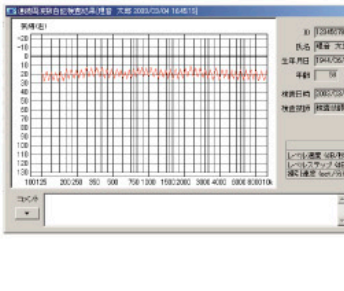
TTS (右)



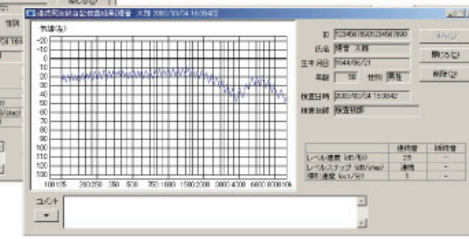
TTS (左)



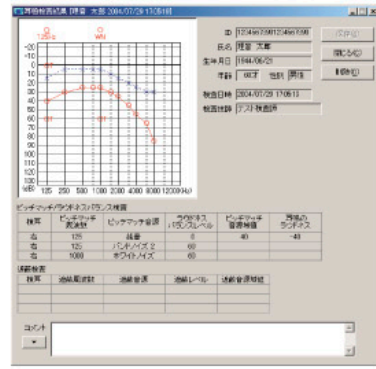
連続自記 (右)



連続自記 (左)



耳鳴



※ 標準純音聴力検査については、結果履歴表示 (データの重ね書き) が可能です。【注意：最大8データ、左右別表記です】

DF-61A

データベースソフト オーディオメータ

AA-78専用

〈概要〉

オーディオメータAA-78を使用して、検査結果を直接サーバーパソコンに転送し、転送したデータを数値としてデータベースに保存することが可能です。データベースに登録された検査結果は、付属のデータベースソフトDF-61を使用することで表示が可能となります。また、AA-78に磁気カードリーダーやバーコードリーダーを接続することで、診察券などから被検者のID情報を読み込むことも可能です。

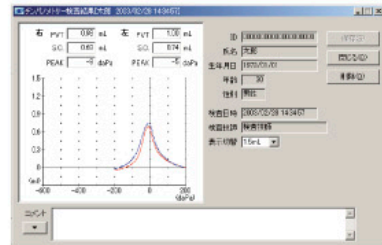
DF-62

データベースソフト インピーダンスオーディオメータ

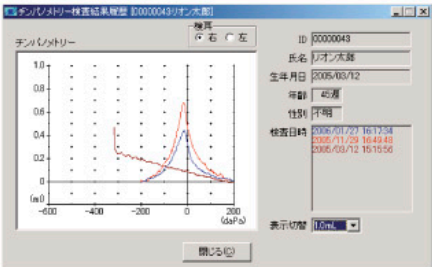
〈機能〉

- チンパノメトリー検査：左右一画面表示
- レフレックス検査：AUTOの検査のみ

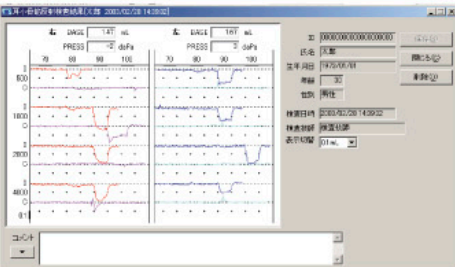
チンパノメトリー



チンパノメトリー重ね書き



レフレックス



※ チンパノメトリー検査については、結果履歴表示 (データの重ね書き) が可能です。【注意：最大10データ、左右別表記です】

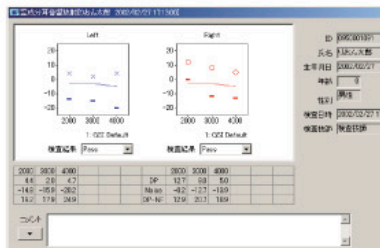
DF-64

データベースソフト スクリーニングOAE

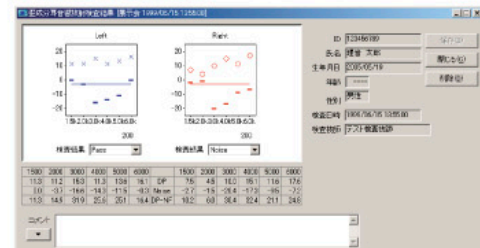
〈機能〉

- 歪成分耳音響放射 (DPOAE)：左右一画面表示 (3周波数/6周波数)

DPOAE (3周波数)



DPOAE (6周波数)



※ 3周波数/6周波数の設定は、検査機器側で行います。

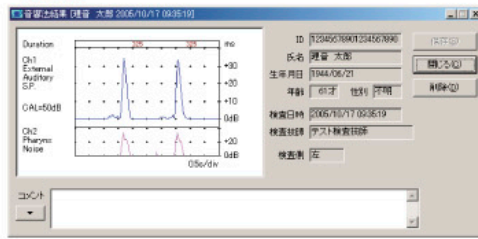
DF-66

データベースソフト 耳管機能検査装置

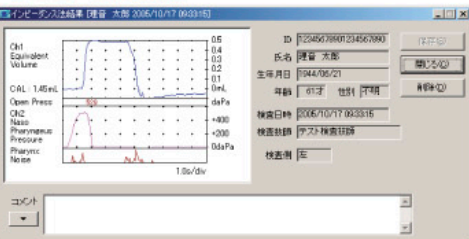
〈機能〉

- 音響法
- インピーダンス法

音響法



インピーダンス法



※ T.T.A.G法とインフレーション/デフレーション法については当該検査法搭載済で接続可能な機器に限り対応可能です。